

水稻種子温湯消毒作業



常盤グリーンセンターでは3月20日～29日まで、水稻種子温湯消毒の受託作業を行いました。生産者177人が、「はれわたり」や「青天の霹靂」などの種子約36トンを申込み、JA職員と作業員らが1日に約4トンの消毒作業を行いました。

温湯消毒は、農薬を使わずに温湯で殺菌する方法。苗立枯細菌病やもみ枯細菌病、いもち病などに対し防除効果が期待できます。消毒作業は同グリーンセンターの敷地内にある旧常盤農産物加工センターで行い、60度の温湯に約10分間浸した後、冷水で冷やす作業を繰り返し行いました。発芽率の低下防止や、病害の防除効果を発揮させるため、浸漬温度と処理時間の管理を徹底して作業を行いました。



温湯から水稻種子を引き上げる作業



水稻種子を冷水で冷やす作業

青年部通常総会



青年部は3月26日、平川市のゆうネットホールで通常総会を開きました。

各地区の青年部員17人が出席し、令和7年度事業報告および収支決算、令和8年度事業計画、収支予算など全4議案を承認しました。また、役員改選が行われ、尾上地区の山口徹さんが青年部長に選任されました。

議案承認後には、山口新部長と古川誠二前部長が、改訂したポリシーブックを奈良寧組合長へ贈呈しました。



奈良組合長(左)にポリシーブックを贈呈する山口新部長(中央)と古川前部長(右)

女性部通常総会



女性部(青山朝子部長)は3月25日、平川市タカシン文化センター内ホールで第17回通常総会を開きました。

各支部の女性部員296人が出席し、令和7年度事業報告および収支決算、研修や家の光・女性部大会などを盛り込んだ令和8年度事業計画、収支予算を承認しました。

総会終了後には、記念上映として映画「九十歳。何がめでたい」を視聴しました。



ステージ上であいさつをする青山部長